

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□□節□□項	□□□□
担当課・係名	税務課 納税係	【問合せ・質問等の先（内線番号）		181 番】

業務の名称	納税貯蓄組合事務						
(1) 根拠法令・条例	長久手町納税貯蓄組合同規約、長久手町補助金交付規則						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>3</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>21</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>350</u> 千円 (平成19年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	<u>100.0</u> % (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度		終了 (予定) 年度				
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的 (達成目標)	主に将来納税者となる小中学生対象に事業を行い、納税に関する意識向上に努める。						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	主に町内在住の小中学生及び中学生						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	小学生に対し「税に関する書き初め」、中学生に対し「税に関する作文」コンクールを開催し、優秀作品には賞及び賞品を授与した。特に「書き初め」コンクール入賞作品 (題字：納税・税金) は、確定申告期間に庁舎等に展示し、役場庁舎への来庁者にも広く公開した。						
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	学校等を通じ、より多くの児童・生徒にコンクール応募を呼びかける。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	「税に関する作文」コンクール		130千円	130千円	168千円	170千円	180千円
2	「税に関する書き初め」コンクール		170千円	170千円	117千円	120千円	120千円
3	口座振替納税推進のため広報活動		50千円	50千円	50千円	50千円	50千円
4							
5							
⑤業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
			成果の説明指標	17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標
1	税に関する意識の向上		350千円	350千円	350千円	350千円	350千円
2							
3							
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

中学生対象とする「作文コンクール」において、広く中学生全体に募集をかけたいと意図するが、実際は、受験事情等が、応募学年に影響を与えている。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

コンクールについては教育委員会を通して、早めに事業広報し学校側に協力を依頼している。

また、口座振替納税推進広報活動については、「納税は口座振替で！」というチラシをいれたポケットティッシュを確定申告会場、町内金融機関及び町商工会窓口において配布しており、特に確定申告の帰り等に口座振替申請書を窓口を求める人が多い傾向がみられる。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.3点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">①. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	将来納税者となる小中学生に対して、コンクール作品募集を通して、税の使い道を考える等、意識向上となる機会になるよう、事業を継続していきたい。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

小中学生がコンクール応募を通し、税について疑問を持ったり、考えたりする等、納税の大切さを感じ取り、将来、納税義務者となった時に滞納者にならないよう機会づくりに努める。

